

<課題>

- ・ 学力調査において、思考、判断、表現する力が平均を下回っている。
- ・ 各学年、各領域によって理解の差が大きく、既習事項が定着していない領域がある。
- ・ 基礎的な問題の理解力も、平均を下回っている。基礎基本の定着が必要である。

<特に育成を目指す資質・能力>

- ・ 資料を読み取ったことをもとに考え、課題に対して自分の考えを表現する力を育てる。
- ・ 前年度までの既習事項の復習をし、基礎的な知識の理解を深める。

<指導方法・体制の工夫>

- ・ 資料の読み取り方について、事実の読み取りに加え、自分の考えを表現する学習活動を多く取り入れる。
- ・ 授業中に既習内容の確認をする時間を取り、基礎的・基本的な知識の定着を図る。

3年

- ・ 単元の学習後に新聞やリーフレットを書くなどして、学習したことを確認したり整理したりする習慣を身に付けさせる。
- ・ 動画教材や体験活動をできるだけ多く取り入れ、実感を伴った理解ができるような指導を工夫する。

4年

- ・ 新聞を書く等の学習活動を意図的に行い、自分の考えを書く習慣を身に付けさせる。
- ・ 動画教材やICT教材を有効活用し、見学等ができない領域に関しても、実感を伴った理解ができるよう、指導の工夫を図る。

5年

- ・ 学習した社会的事象と自分の生活を関連させて考える学習活動を意図的・継続的に行い、思考・判断・表現する力を育てる。
- ・ 資料を正しく読み取るための技能ポイントを指導するとともに、既習事項の復習をする時間を設け、基礎基本の定着を図る。

6年

- ・ 資料を正しく読み取るための技能ポイントを指導するとともに、それを児童が自主的に活用できるようにしていく。そのために、教科書や資料集に載っている資料の読み取りを継続的に行っていく。
- ・ 帯で復習の時間をつくり、プリントやフラッシュカードを活用し、学習の確実な定着を図る。